

毎年6月、12月～2月は重点実施期間です

# 転ばないでね!

滑り、つまずき、踏み外しのない職場づくりを目指して

福島県内の労働災害は、転倒によるものが最も多く、全体の約4分の1を占め、年間437人と多発しています。特に、12月から2月までの冬期間に多く発生しています。また、その転倒災害の約7割を50歳以上の労働者が占めています。転倒災害を軽く考える方もいますが、1か月以上の休業が約6割で、休業する期間は長期に亘っています。

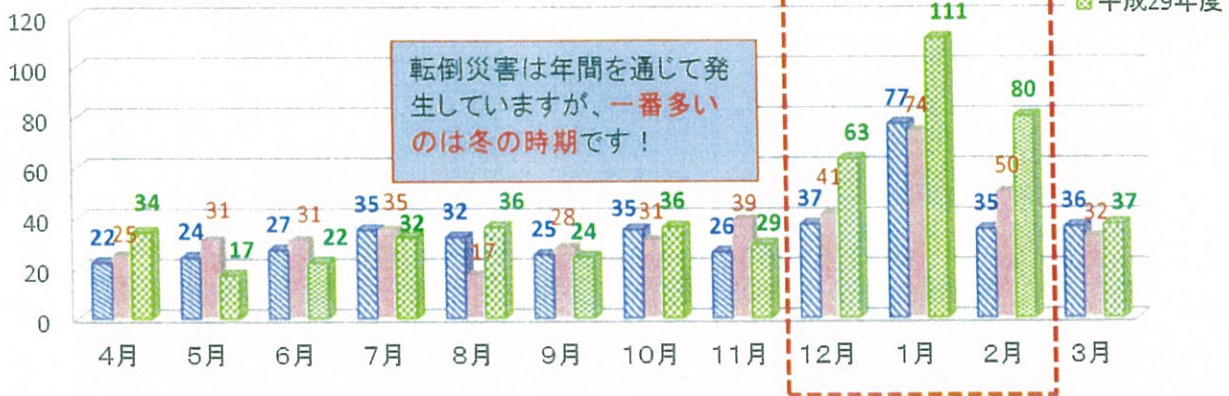
今後、冬場を迎え、転倒災害が多発することが予測されます。

各事業場において転倒災害防止対策を徹底し、安心して働ける職場環境を目指しましょう。

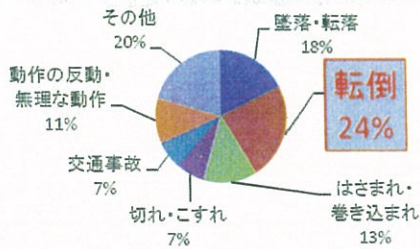


©2015 ゼロサイくん

月別転倒災害発生状況  
(労働者死傷病報告による休業4日以上)

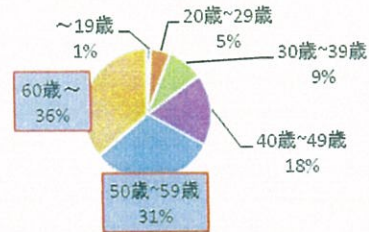


平成29年事故の型別災害発生状況



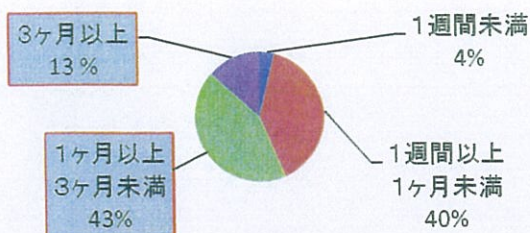
※ 転倒災害が最多で、全体の約4分の1を占める。

平成29年年齢別転倒災害発生状況



※ 50歳以上が全体の約7割を占める。

平成29年転倒災害 休業日数



※ 1か月以上の休業が約6割を占める。

平成29年度の冬は  
転倒災害が多かったのね!  
平成30年度の冬は  
私も転ばないように  
注意しなくちゃ!



©2018 レイコさん



# 昨年度の冬はこのような災害が多く発生しました

災害発生状況		再発防止のポイント
建設業 ダクト工 30代・男性 休業1か月	事業場敷地内の倉庫兼駐車場に停めてあった社用ワゴン車に積もっていた雪を、雪かき棒で除雪していた際に、地面が凍結していたことにより滑って転倒し、左足首を骨折した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな除雪・融雪剤の散布等を行う。</li> <li>危険マップにより情報を共有する。</li> <li>適切なサイズで滑りにくい靴を履く。</li> <li>慎重に行動する。</li> </ul>

災害発生状況		再発防止のポイント
飲食店 調理員 60代・女性 休業2週間	店舗閉店作業時に、ゴミを片付けるため店舗の外にあるゴミ庫に向かう通路において、路面が凍結していたことにより滑って転倒し、地面についたお尻・前頭部・肩を打撲した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな除雪・融雪剤の散布等を行う。</li> <li>店舗外の通路に滑り止めマットを設置する。</li> <li>危険マップにより情報を共有する。</li> <li>適切なサイズで滑りにくい靴を履く。</li> <li>慎重に行動する。</li> </ul>

災害発生状況		再発防止のポイント
小売業 調理師 60代・男性 休業2か月	開店準備中に、ゴミを片付けるため店舗の玄関を出たところで、玄関前の路面が凍結していたことにより滑って転倒し、傍にあったコンクリート製の花壇に左上腕部を強打し骨折した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>こまめな除雪・融雪剤の散布等を行う。</li> <li>玄関前に滑り止めマットを設置する。</li> <li>危険マップにより情報を共有する。</li> <li>適切なサイズで滑りにくい靴を履く。</li> <li>慎重に行動する。</li> </ul>

今年(平成30年)の**1月～3月の期間**に発生した転倒災害のうち、**積雪や凍結を原因とするものが約6割**ありました。そして、その積雪や凍結を原因とする転倒災害のうち、**事業場の通路・駐車場や建物入口等の事業場の敷地内で発生したものが、約7割**ありました。

したがって、

**冬場の転倒災害の多くは、事業場の敷地内において、転倒防止のための有効な災害防止対策が適正に実施されれば、かなりの程度防ぐことができるはず**です。

一方で、

**転倒災害の被災者の休業期間は長くなる傾向**にあります(休業期間が1か月以上の方が被災者全体の約6割を占めています)。そのため、**一度職場において転倒災害が発生してしまつと、ただでさえ人手不足で大変な職場において、通常の業務に支障がでかねません。**

そのようなことにならないように、

不注意と 消ませていないか 原因を

**事業場としても、今年の冬、労働者の注意力だけに頼るのではなく、転倒災害の防止対策を本気で考えてみませんか!!**





# こうして防ごう、この冬の転倒災害！

## 1 安全衛生委員会等による取組み

- ① 転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議
- ② チェックリストを活用して安全衛生委員会等による職場巡視を実施し、職場環境の改善と労働者の意識啓発を図りましょう。

● 組織で取組むことで、様々な改善を図ることができます。

## 2 基本は5S「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」 整理整頓 5Sできれいに 安全通路

- 荷物やゴミなど物が散らかっている職場や、水や油で床が滑りやすい職場は、災害の危険性が高くなります。
- 5S活動は、作業のしやすさ、作業の効率化にもつながります。

## 3 危険マップを作成する(通年・冬季)

職場の平面図に次のことを書き入れ、注意喚起しましょう。

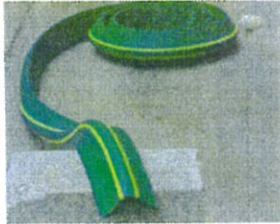
- ・ 過去に災害が発生した場所
- ・ ヒヤリ・ハット事例の多い箇所
- ・ 危険予知活動で注意が必要とされた箇所

## 4 降雪・凍結による転倒災害の防止措置

### 除雪・融雪用のグッズ(例)

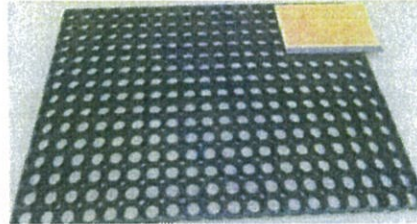


除雪機(参考価格:約20万円)



散水ホース(参考価格:3mの物で約4千円)(水道に繋ぐとホースの多数の穴から水が出る)

### 玄関や通路用の滑り止めマット(例)



滑り止めマット(参考価格:縦600mm×横800mm×厚さ22mmの物で約3.3千円)



水草製滑り止めマット(参考価格:3mの物で約3千円)

### 各種長靴等(例)



男性用ビン・金具付き長靴(参考価格:約3千円)



女性用ビン・金具付き長靴(参考価格:約3千円)



靴に装着できる滑り止めスパイク(参考価格:約750円)

- ※1:写真は、福島市内のホームセンターにおいて撮影したものです。  
 ※2:表示した価格は、当該ホームセンターの店頭価格(税込)ですので、お店によって価格が異なることがあります。

## 5 見える化

※ 危険な個所を可視化することで、危険認識や注意喚起を高めましょう。

例1



通行区分を定め、事故の多い下3段に段数を示し、注意喚起を図る。

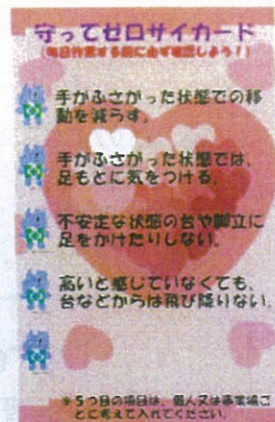
例2



滑り止め靴をはき、さらに、丸いタンクの上蓋に、黄色の滑り止めテープを貼っている。

福島労働局では、転倒災害を防止するうえで労働者が最低限守ることを示した「守ってゼロサイカード」を作成しました。

福島労働局のホームページ(「各種法令・制度・手続き」→「安全衛生」→「手続き・様式集」)に電子データが入っていますので、名刺印刷用の用紙に印刷する等して、是非ご利用ください。  
 福島労働局や各労働基準監督署でも配布しています。



さあ、次のページのチェックリストで点検してみましょう！！



# 転倒しそうなところはありませんか？ もう一度、あなたの職場をチェックしてみませんか

## < 転倒災害防止のためのチェックリスト >

チェック項目		結果	NOの場合
1	安全衛生委員会等で組織的に取り組んでいますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 1へ
2	整理・整頓・清掃・清潔・躰に取り組んでいますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 2へ
3	通路、階段、出口に障害となる物を放置していませんか。	YES・NO	⇒ 前ページ 2へ
4	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 2へ
5	安全に移動できるような十分な明るさ(照度)が確保されていますか。	YES・NO	
6	作業靴は、作業や歩行に適し、ちょうど良いサイズのもの履いていますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 4へ
7	危険予知活動(KY活動)やヒヤリ・ハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 1、3へ
8	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識はありますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 5へ
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか。	YES・NO	
10	時間に追われて、あわてて作業を行っていませんか。	YES・NO	
11	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか。	YES・NO	
12	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話を使いながら歩いていませんか。	YES・NO	
13	<p>★ 冬季は、上記に加えてこの項目もチェックしましょう。</p> 積雪・凍結などによる転倒災害を防止するため、天気予報に気を配り、時間に余裕をもった歩行・作業、駐車場や屋外通路の除雪・融雪、適切な履物・歩行方法の教育を実施していますか。	YES・NO	⇒ 前ページ 4へ

**チェックの結果、NOのあった項目は、改善が必要です。**

- ◎ 改善が必要な項目は、計画的に改善しましょう。  
問題が改善されれば、安全水準が向上し、働きやすい職場に！
- ◎ どのように改善すればいいの？  
前ページの該当トピックをご覧ください。  
下欄の「STOP！転倒災害プロジェクト」特設サイトもご利用ください。

取り組もう  
転倒防止の  
意識づけ



## 「STOP！転倒災害プロジェクト」特設サイトのご案内

「STOP！転倒災害プロジェクト」特設サイトでは、転倒災害の現状から対策まで事業場での取組に役立つ情報を提供しています。さまざまな対策事例を知りたい方はぜひ特設サイトをご覧ください。

厚生労働省ホームページ

職場のあんぜん STOP！転倒

検索

